

令和3年度 第3回奈良市地域公共交通会議会議録

開催日時	令和4年2月17日(木) 10時00分～12時00分	
開催形式	オンライン	
議 題	<p><b>議事</b></p> <p>(1) 議題1: バス路線休廃止の申し入れへの対応について</p> <p>(2) 議題2: 東部地域の交通課題に対する取り組みについて</p> <p>(3) 議題3: 山添村運営有償運送の奈良市内への乗り入れ継続について</p>	
出席者	委 員	<p>奈良市 副市長 西谷委員</p> <p>奈良交通株式会社 乗合事業部長 大西委員</p> <p>公益社団法人奈良県バス協会 専務理事 井上委員</p> <p>奈良県タクシー協会奈良市部会幹事 大和交通株式会社 北浦委員</p> <p>近畿日本鉄道株式会社 総合企画部長 山本委員</p> <p>西日本旅客鉄道株式会社 近畿統括本部 地域共生室長 川嶋委員</p> <p>奈良市自治連合会代表 長谷川委員</p> <p>公募委員 地域づくり支援機構理事 大塚委員</p> <p>公募委員 六条校区自治連合会副会長 吉村委員</p> <p>国土交通省近畿運輸局奈良運輸支局 支局長 澤島委員(代理: 東様)</p> <p>奈良県交通運輸産業労働組合協議会 事務局長 今西委員(代理: 橋副様)</p> <p>奈良国道事務所 副所長 宮井委員</p> <p>奈良土木事務所 所長 宮本委員(代理: 中村様)</p> <p>奈良市 建設部長 木村委員</p> <p>奈良警察署 署長 中西委員(代理: 工藤様)</p> <p>奈良西警察署 署長 榎谷委員(代理: 竹田様)</p> <p>一般社団法人グローカル交流推進機構 理事長 土井委員</p> <p>奈良県 県土マネジメント部                  リニア推進・地域交通対策課長 通山委員(代理: 中道様)</p> <p>奈良市 都市整備部長 中原委員</p>
開催形態	公開	
担当課	都市整備部都市政策課	

## 審議内容（主な意見）

### 議事

#### （１）議題１：バス路線廃止の申し入れへの対応について

事務局が資料に従ってバス路線廃止の申し入れがあった際の対応方針（案）についての説明を行った。

（土井議長）

- ・ 前回の説明からバス路線が継続となり、1年間考える期間を得られた。
- ・ 今後の対応案についての提案があった。
- ・ 奈良交通から付け加えることはあるか。

（大西委員）

- ・ この度は当社の申し入れに対して真摯に協議いただき、自治会からの声を直接聞かせていただき、勉強もさせていただいた。その結果、赤膚六条山線と歌姫線については再編をし、維持をさせていただくこととなった。
- ・ ただし、収支率については赤膚六条山線については15%、歌姫線については30%であり、維持するのは非常に厳しい路線である。
- ・ アンケート結果を見て出来るだけ地域の要望にあったものを作りたいとは考えているが、経費のことも考えないといけないため、効率を良くし、できるだけ継続して走れるものを提案させてもらおうと思っている。
- ・ アンケートをすると、どちらかという減便主体ではなく、ここを増やしてほしい、朝を早く夜を遅くという意見が出がちであるが、そういうことに対する計画を提案することは難しい。
- ・ 減便をしてでも維持できる運行計画を提案させていただき、その結果を見て、1年後に判断したい。
- ・ 2次協議路線（済生会奈良病院線、四条大路線、八条町線、あやめ池線、平城団地（神功）線、学園緑ヶ丘線）についてもどうやったら維持できるのかというような案を奈良市に提案し、協議し、地域の皆さんにお示しし、P8の「申し入れ対象路線への対応（案）のイメージ」に沿ってスムーズに進めていきたい。

（土井議長）

- ・ 申し入れいただいた期限が延長されることにより、その分経費が余分にかかるということは重々承知している。いただいた時間を有効活用していただきたい。
- ・ 吉村委員、前回ご発言いただいているが何か意見はありますか。

（吉村委員）

- ・ 今回の件について奈良交通や奈良市のご協力に感謝している。1年間かけて奈良市のモデルになるような計画を作っていきたい。

（土井議長）

- ・ P8の「申し入れ対象路線への対応（案）のイメージ」のSTEP4「バス路線の方向性の決定」で路線バスではなく、代替手段を提供していくことになれば、場合によってはSTEP5「バス路線の運行形

態の見直しの実施」を踏む必要がなくなり、STEP6「バス路線の方向性の最終決定」に行くという選択肢もあると思う。

- ・これはイメージということで、地域にあわせてアレンジしていくという方向でお願いしたい。

(事務局)

- ・実態にあわせて、地域・路線に応じた対応をしていきたいと考えている。

(土井議長)

- ・原則と地域の実情に合わせてできるだけ早く決めていくことが必要かと思う。ただ、手を抜くことにならないように注意してやってほしい。
- ・奈良交通からアンケートは要望が多いという話があった。要望を聞くというよりは、路線がなくなることによって本当に困る人がどれくらいいるのかをつかんでおくことが次の対応策を考えていく上で大事なので、そういう調査をできるだけ力を入れてやるということをお願いしたい。
- ・他に意見がなければ以上でよろしいか。
- ・これからの対応方針もありますし、吉村委員もおっしゃったモデルプランを作っていただく地区もあると思う。こういう方針に基づいて来年度以降も継続してこの会議に諮っていくということにさせていただきたい。

## (2) 議題2：東部地域の交通課題に対する取り組みについて

事務局が資料に従って東部地域の交通課題に対する取り組みについて、説明を行った。

(土井議長)

- ・東部地域の公共交通空白地域をこれからどういう風にしていくのかということで、実証運行を行いたいという説明であった。

(北浦委員)

- ・奈良市からジャンボタクシーを貸し切った3月からの実証運行について、2月中に大柳生地区、東里地区、狭川地区については会社のジャンボタクシーで下見をしに行き、道の幅的にギリギリで通れた。
- ・月ヶ瀬については明日下見に行く予定である。桃香野は勾配がかなりあり、道幅も狭いと聞いているのでまだ行けるかは不明な状況であるが、下見後に奈良市に報告させていただく。

(土井議長)

- ・今の説明だけでも地域の実態を感じ取れた。
- ・実証運行の結果についてもまた報告いただきたい。

## (3) 議題3：山添村運営有償旅客運送の奈良市内への乗り入れ継続について

事務局が資料に従って山添村運営有償旅客運送の奈良市内への乗り入れ継続について、説明を行った。

(土井議長)

・ご意見がなければ、この会議の会長名で回答させていただくということにさせていただきますよろしいか。

(長谷川委員)

・様式1-5の運輸支局長宛の文書は主催者 ○○市長からの文書となっているが、地域公共交通会議となると、公共交通会議の会長名で出されると理解してよろしいか。

(事務局)

・奈良市地域公共交通会議の主催者は副市長となっているので、副市長名で出させていただきます。

(土井議長)

・会議の会長名が副市長ということですね。  
・他にご質問がなければ協議が調ったということにさせていただきます。

### 「3. その他」について

・JR西日本の川島委員から取り組まれている事業（JR西日本公式移動生活ナビアプリ「WESTER」を使ったスタンプラリー等）について説明があった。

・事務局長から公募委員の大塚委員、吉村委員の任期が令和4年3月末で終わることへの御礼と報告を行った。